

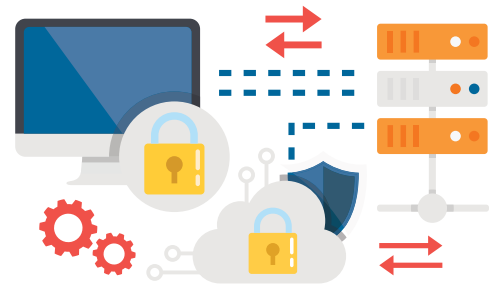
シームレスなGDPRコンプライアンス

データ仮想化を活用した単一アクセスポイントからのデータアクセス管理

GDPRは、企業がどのように個人情報保護を必要とするかについて詳述しています。また、2016年5月にすでに発行されているので、企業に(まだ開始していない場合)ただちに準備を開始することを推奨しています。GDPRに準拠しない企業は、制裁金を支払う必要があるだけでなく、訴訟および定期的な監査の対象になる可能性もあります。GDPRに準拠しないことの結果として企業がデータ損失を被った場合、顧客からの信頼を取り戻して、ブランドへのダメージを回復するという大きな代償を払う必要もあります。

企業は、GDPRコンプライアンスを達成するために、個人データが以下のように扱われることを実証する必要があります。

- 合法的で正しく明白な方法で処理されていること
- はっきり限定された明示的で合法的な目的のために収集されていること
- 処理に必要なデータのみ限定されていること
- 正確で最新であることが維持されていること
- 必要な場合のみ主体が特定されるように保存されていること
- 悪意を持つ人間の手に渡ったり、紛失、損傷、または破棄されたりすることがないように、セキュアな方法で処理されること
- 計画的に保護されていること(すべての新規システムはプライバシーを考慮して開発されなければならない)



多くの企業は、GDPRコンプライアンスは達成が困難であると感じるでしょう。なぜなら、多くの場合、データはオンプレミスとクラウドの両方に存在する無数の異種データソースにまたがって保存されているからです。Forrester社は、『You Need An Action Plan For The GDPR』¹という記事の中で、企業は、侵害が発生していなくても、セキュリティ対策について報告を求められる可能性があることを強調しています。企業は、特定の記録がどこに保存され、誰がその記録を見る権限を持っているかを報告する必要がある可能性があります。多くの場合、あらゆる技術的判断の論理的根拠について説明を求められる可能性もあります。

Forrester社は前述の記事1の中で、製品開発においてセキュリティとプライバシーの専門家が積極的に関与する必要があるため、GDPRの「計画的なプライバシー」要件は満たすのが最も困難な要件であると警告しています。

企業は、GDPRに備えるために、すべてのデータを鳥瞰的に捉えて、単一アクセスポイントからのインフラストラクチャ全体にわたるセキュリティ管理を確立する方法を用意する必要があります。

データ仮想化は、それを可能にします。企業は、新しいハードウェアに投資したり既存のシステムを丸ごと作り直したりしなくても、迅速かつ簡単な方法でGDPRコンプライアンスを達成できます。

1 記事: You Need An Action Plan For The GDPR”、Forrester Research, Inc.、2016年10月14日

シームレスなGDPRコンプライアンスを実現するデータ仮想化

きめ細かなセキュリティと完全な監査可能性

データ仮想化によって、オンプレミスとオフプレミスのシステムにわたって統合された単一アクセスレイヤーが確立されるので、企業は複数のシステムにまたがって保存されている顧客の機密情報をきめ細かく管理できるようになります。データ利用者がソースにアクセスする必要がある場合、そのアクセスはデータ仮想化レイヤーを通じて行われます。データ仮想化レイヤーには各ソースにアクセスするためのメタデータが格納されており、リアルタイムにセキュアで仮想化されたデータビューをデータ利用者に返します。このデータビューは追跡可能かつ監査可能であり、権限を付与されたデータ利用者にのみ提供されます。



完全なデータリネージとアジャイルなビジネスルール

企業は、いつでも、いかなる機密データセットのリネージについても、その発生元、あらゆるビュー、およびあらゆる変更を含めて、完全に理解し、それについて報告できます。さらに、データ仮想化レイヤーを通じて、必須の資格情報を持たないユーザーに見られないようにデータをオンザフライでマスクするなど、GDPRコンプライアンスを自動化する高度なルールを確立できます。さらに、そのようなルールはデータ仮想化レイヤーで適用されるので、多様なシステムに迅速かつ効率的に適用できます。



計画的なプライバシーの促進

また、データ仮想化は、特に企業がGDPRの「計画的な保護」要件に準拠する場合に非常に役立ちます。データ仮想化レイヤーでは、定義上は、ソースが規定されている種類である必要も、特定の方法でアクセスするものである必要もありません。新しいソースは、データ仮想化レイヤーに接続することによって簡単にインフラストラクチャに追加でき、それによって、データソーステクノロジーに関係なく、即座にシステム上の他のソースと同様のセキュリティ管理および監査可能性の対象になります。



不要なデータ移動の排除

データ仮想化レイヤーが設置されている場合、報告を目的としてデータを複製する必要はなく、ETLスクリプトを作り直す必要もありません。データ仮想化レイヤーは、企業の既存のインフラストラクチャで、その構成をまったく変更することなく、動作します。データ仮想化レイヤーはアクセス関数を抽象化するだけであり、それによってユーザーからは単一の仮想リポジトリにデータが存在するように見えます。GDPRコンプライアンスを達成するために、セキュリティ管理者は、単一アクセスポイントからすべてのアクセスを管理できます。



保存データと移動中データの保護

データ仮想化レイヤーでは、ゲスト、従業員、または企業のいずれかのレベルでロールベースの認証を実行すること、行レベルまたは列レベルのマスクなどデータ固有の権限を適用すること、およびスキーマ全体の権限とポリシーベースのセキュリティを定義することができます。仮想化レイヤーは、SSL/TLSプロトコルを通じて送信中データを保護すること、およびLDAP、Kerberosによるパズスルー、Windows SSO、OAuth、SPNEGO認証、JDBC/ODBC Securityなどの業界で認められているプロトコルを通じてユーザーを認証することができます。



メリット



データソースへのリアルタイムアクセスを通じて最新データにアクセス



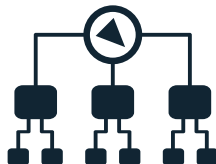
個人データの複製が少ない



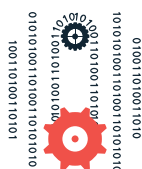
制御されている同一仮想レイヤーを通じてオンプレミスとオフプレミスのデータを結合



完全に監査および監視可能(どのユーザーがどのデータを見たかを示すログを含む)



すべてのデータリネージを捕捉し、セキュリティ利害関係者がすべてのデータの発生源を把握できるように支援



企業全体にわたるオンザフラインのデータマスク機能



単一アクセスポイントからの一貫したセキュリティ管理

Denodoプラットフォームベースのデータ仮想化レイヤーが企業にもたらすメリット



データのプライバシーとセキュリティに対して費用対効果に基づく手法を適用可能



データのプライバシーとセキュリティを利用してカスタマーエクスペリエンスを向上可能



単一アクセスポイントからの一貫したセキュリティ管理



情報へのアクセスを必要とする新しい構想にデータのプライバシーとセキュリティを簡単に注入可能



企業全体にわたるオンザフラインのデータマスク機能

ケーススタディ: Asurion社

世界中でテクノロジーを保護およびサポートする製品を提供する大手プロバイダであるAsurion社は、インフラストラクチャのモダナイゼーションを行って、クラウドベースの分析機能を追加することを望んでいました。しかし、個人情報の移行に対する厳しい制約に直面したこと、およびますます厳しくなる一連の政府規制へのコンプライアンスを維持する必要があることから、企業全体のセキュリティ管理を単一制御ポイントを中心にして一元化する必要がありました。

ソリューション

Asurion社は、Denodoプラットフォームを利用して、クラウドのAmazon Web Services (AWS)インスタンス上で動作するデータ仮想化レイヤーを設定しました。(オンプレミスとクラウドを含む)すべてのデータソースへのアクセスを標準化することによって、保存されている企業データ全体に仮想化レイヤーを通じてセキュリティ管理を実装し、セキュリティ管理を大幅に単純化できました。



「Denodoプラットフォームは、これまでに見た重要なエンタープライズソフトウェアの中で、最も展開が容易で大きな成功を収めたものの1つでした。そして、展開してすぐに最初のセキュリティユースケースを見事に処理できました」

Asurion社エンタープライズアーキテクチャ

結果

データ仮想化レイヤーを実装した後、Asurion社は、以下の処理を実行できるようになりました。

- 単一アクセスポイントからインフラストラクチャ全体にわたってセキュリティを管理すること
- 地域のデータセキュリティ要件を容易に満たすこと
- 必要に応じてデータアクセスの完全監査を実行すること
- 規則に準拠している新しいソースを迅速かつ簡単に追加すること



ZEAL

株式会社ジールは、「専門的な分析基盤を用意に実現する」企業分析の専門集団です。最新の技術と情報処理技術を駆使し、お客様の業務に合わせたデジタルトランスフォーメーションを提供します。コンサルティングから設計、開発、さらにはサポートサービス、教育サービスまでシステム導入のすべてを提供でき、多種多様な導入実績に基づいた知見で、お客様が抱えるあらゆる課題を解決します。

ホームページ www.zdh.co.jp

denodo

Denodo は、データ仮想化市場をリードする企業として、高性能で柔軟なデータ連携、データ抽象化、リアルタイムのデータサービスをエンタープライズ企業、クラウド、ビッグデータ、非構造化データなど幅広い環境に従来の手法の半分のコストで提供しています。すべての主要な業界におけるDenodoのお客様は、事業のアジリティとROIを大幅に向上させました。

ホームページ www.denodo.com